

基本事業コード	13060001	担当課所名	市立病院管理課			
基本事業名	市立病院管理事業					
総合振興計画	分野	2 医療・福祉・保健				
	政策	1 地域医療の充実				
	施策	2 市立病院の充実		総合振興計画	48 ページ	
基本事業の概要	市立病院の施設設備、経営、人事管理を行うことにより、秩父地域の住民に対してより良い医療が提供できる環境をつくる。					
対象	秩父地域の住民					
意図 (対象をどのようにしたいか)	(施設整備、経営、人事管理を行うことにより、)より良い医療が提供できる環境を整備したい。					
基本事業指標	指標の算式	種類	1年度 過年度実績値	評価年度(2年度) 目標値	4年度 目標値	他団体の指標(数値)
医業収益に対する職員給与費の割合	職員給与費/医業収益×100	成果指標 %	53.7	55.4	62.8	59.5 黒字同規模病院平均値: 59.5%(R1決算)
医業収益に対する医療材料費の割合	医療材料費/医業収益×100	成果指標 %	18.	17.3	17.4	15.5 同:15.5%(R1決算)
1床あたりの償却資産(建物)	(償却資産-減価償却累計額)/許可病床数	成果指標 千円	8,760.	11,719.	8,723.	13,491. 同:13,491千円(R1決算) ※近似値がよい
整備不良による年間医療機器事故件数		成果指標 件	0.	0.	0.	0.
◆基本事業を構成する事務事業の実績◆						
枝番号	事務事業名	指標	目標値(上段)	実績値(下段)	種類 単位	事務事業評価 4年度以降の 事業の方向性 コスト: 成果
		事業費(円)	1年度決算額			
01	市立病院内部管理事務	指標: 医業収益に占める職員給与費の割合	55.4	55.4	成果指標 %	B 維持: 拡充
		426,562,823	511,979,284	607,048,000	62.8	
02	医療材料購入事務	指標: 医業収益に占める医療材料費の割合	17.3	17.3	成果指標 %	B 維持: 拡充
		506,257,187	445,156,817	473,557,000	17.4	
03	市立病院施設設備維持管理事業	指標: 1床あたりの償却資産(建物)	11,719.	11,719.	成果指標 千円	B 維持: 拡充
		310,151,737	355,998,807	289,354,000	8,723.	
04	医療機器等整備事業	指標: 整備不良による年間医療機器事故件数	0.	0.	成果指標 件	B 維持: 拡充
		321,895,795	290,521,028	274,338,000	0.	
05		指標:				
06		指標:				
07		指標:				
08		指標:				
09		指標:				
10		指標:				
11		指標:				
12		指標:				
13		指標:				
14		指標:				
(参考) 最終予算額(円)		1,711,651,000	1,734,851,000		【重点化欄】	
事業費の合計(円) (A)		1,564,867,542	1,603,655,936	1,644,297,000	評価時点以降の事業の方向性から	
財源内訳	国庫支出金	0	136,549,000	0	◎: 特に重点化必要事業(1つ以内)	
	県支出去金	1,387,000	14,097,000	0	○: 重点化必要事業(1つ以内)	
	地方債	17,700,000	69,600,000	11,900,000	△: 劣後化可能事業(1つ以内)	
	その他特定財	293,694,547	418,206,610	444,263,000	▲: 特に劣後化可能事業(1つ以内)	
一般財源		1,252,085,995	965,203,326	1,188,134,000		
正規職員		業務量 人件費(B)	177.68人 1,430,636,766	181.73人 1,430,102,035		
会計年度任用職員 (事業費に含む)		業務量 人件費	35.80人 186,260,676	46.00人 209,324,407		
事業費合計(人件費込み)(円)		(A)+(B)	2,995,504,308	3,033,757,971		

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ 病院経営を人事管理、用度管理、施設管理の視点から指標を定め、黒字同規模病院の平均値を基に目標値を設定している。職員給与費割合は新型コロナウイルス感染症の影響により医業収益が大幅に減少したため、それに比例し、数値が悪化している。医療材料費割合はベンチマークの活用等により目標値まであと少しのところまで改善している。施設管理、医療機器等整備については、耐用年数や緊急性などから優先順位を適切に把握し、随時、更新や修繕を行っていく必要がある。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？(過不足がある場合は、改善提案に記載する。) 秩父地域の住民に対してより良い医療を提供できる環境をつくるためには、人事管理、施設管理、医療材料等の用度管理、医療機器等の管理など多岐にわたる事業を円滑に行い、経営の基盤が確立されている必要がある。いずれの事業も必要である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間(市民、企業、NPO)との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 市直営の病院であるが、秩父保健医療圏(1市4町)の二次救急医療体制を維持するため、民間の2病院とともに病院群輪番制の役割を担っている。また、地域に不足している医療や不採算部門の医療についても担っていく必要がある。

◆改善提案◆

Action

新規に実施する事務事業名	事業の概要

表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、◎、○、△、▲を選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述
枝番号04医療機器等整備事業を特に重点化する事業とした理由は、コロナ禍においても安心・安全な医療を提供するために老朽化した医療機器を更新する必要があるからである。令和3年度は全自動輸血検査システムや手術台等の更新を行い、令和4年度以降も耐用年数、使用頻度を考慮し、随時更新していく予定である。
枝番号03市立病院施設設備維持管理事業を重点化する事業とした理由は、医療機器と同様に老朽化に伴い、修繕や設備の更新が必要となっているからである。令和3年度は南館2階東側屋上防水工事を行うなど、適正な維持管理に努めていく必要がある。

改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由

改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)	1年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)
予算を伴わない短期的(1~2年)に取り組む改善提案 コロナ禍による一部外来診療の制限や入院の抑制に伴い、収益が減少しているため、新型コロナ対策を行いつつ、通常診療に戻し、収益を確保していく必要がある。 通常診療を維持していくためには人員が必要となるが、予定人員を下回る医療職もあるため、年度単位で募集していた採用方法に随時募集も加えるなど、人材確保を図る。 行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況 (6)公営企業等の経営健全化	医療材料の購入において、ベンチマークシステムを活用した価格交渉を進め、適正な価格での契約締結を行うとともに、在庫の適正管理を行うことにより医療材料費の削減を図る。また、新型コロナウイルス感染症対策を適正に行うため、国や県の動向や情報収集に努めるとともに、院内の感染対策を強化する。 ベンチマークシステムの活用により医療材料費の削減を図ることができた。また、新型コロナ対策として、玄関での検温、面会制限等の感染対策を強化したことにより、院内クラスターの発生を防ぐことができた。
予算を伴う短期的(1~2年)に取り組む改善提案 コロナ禍においても安心・安全な医療が提供できるよう、全自動輸血検査システムや手術室の手術台等の医療機器の更新を行う。 また、新型コロナ対策として、必要となる医療機器、消耗品等がある場合は国や県の補助金を活用して整備を行う。 行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況 (3)基本事業・事務事業の継続的改善	安心・安全な医療を提供するため、手術室等で使用する吸引装置の更新工事を行う。また、災害時・緊急時に適正な対応が取れるよう、非常放送のアンプ更新工事を行う。 また、新型コロナウイルス感染症対策として、国や県の補助金を活用して、入院患者を受入れるために医療機器の整備等を行う。 吸引装置更新工事、非常放送アンプ更新工事ともに年度内に事業が完了した。また、新型コロナ対策として、国庫補助金を活用して陽圧式人工呼吸器や簡易陰圧装置を整備した。
中長期的(3~5年)に取り組む改善提案 新型コロナウイルス感染症対策として、医療用消耗品の備蓄や病床の確保、医療機器の整備を行うとともに、通常の診療体制、救急医療体制の維持を確保したうえで、市立病院中長期計画に基づき、目標を達成するために必要な事業の改善を進めること。	新型コロナ対策として、医療用消耗品の備蓄や病床の確保、医療機器の整備を行うとともに、新公立病院改革プラン、市立病院中長期計画に基づき、目標を達成するために必要な事業の改善を進めること。 令和2年度は医療用消耗品の在庫切れの恐れもあったが、国からの物資支給により備蓄も充足している状況である。コロナ禍により各計画の目標達成が困難な状況であるが、まずは新型コロナ対策をしっかりと行い、通常診療に戻すことが最優先である。

改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー

市立病院の基盤である施設・設備・人員体制・経営が安定することで、住民が安心して医療を受けられる。

基本事業執行責任者 (担当課長名)	石野 雅楨	電話番号 0494-23-0611
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	13070001	担当課所名	市立病院 医事課				
基本事業名	市立病院医事事業						
総合振興計画 位置づけ	分野	2 医療・福祉・保健					
	政策	1 地域医療の充実					
	施策	2 市立病院の充実			総合振興計画	48 ページ	
基本事業の概要	良質な医療を効率的に提供する環境を整え、迅速な患者対応及び適切な医療に対する請求・収納を行う。						
対象	患者						
意図 (対象をどのようにしたいか)	健康保持に必要な医療を安心して受けられるようにする。						
基本事業指標	指標の算式	種類 単位	1年度 過年度実績値	評価年度(2年度)		4年度 目標値	他団体の指標(数値)
			目標値	実績値			
市立病院患者数	入院外来年間延べ受け入れ患者数	成果指標 人	114,286	117,000	98,336	117,000	
◆基本事業を構成する事務事業の実績◆							
枝番号	事務事業名	指標		目標値(上段)	種類 単位	事務事業評価 4年度以降の 事業の方向性 コスト: 成果	重点化
		事業費(円)	実績値(下段)				
01	医療情報システム維持管理事業	指標: 待ち時間満足度	65	成果指標	A	維持: 維持	◎
		89,501,863	91,205,303	49,498,000	69		
02	医療費請求・収納事業	指標: 医療費査定率	0.16	成果指標	B	維持: 拡充	◎
		69,410,684	74,874,012	82,415,000	0.12		
03		指標:					
04		指標:					
05		指標:					
06		指標:					
07		指標:					
08		指標:					
09		指標:					
10		指標:					
11		指標:					
12		指標:					
13		指標:					
14		指標:					
(参考) 最終予算額(円)			162,698,000	173,347,000		【重点化欄】	
事業費の合計(円) (A)			158,912,547	166,079,315	131,913,000	評価時点以降の事業の方向性から	
財源内訳			国庫支出金		2,002,000	◎: 特に重点化必要事業(1つ以内)	
			県支出去金			○: 重点化必要事業(1つ以内)	
			地方債			△: 劣後化可能事業(1つ以内)	
			その他特定財	8,464,000	16,913,000	▲: 特に劣後化可能事業(1つ以内)	
			一般財源	150,448,547	149,166,315		
正規職員			業務量	4.32人	4.27人		
			人件費(B)	26,180,868	25,013,289		
会計年度任用職員 (事業費に含む)			業務量	0.00人	0.00人		
			人件費				
事業費合計(人件費込み)(円)			(A)+(B)	185,093,415	191,092,604	成 拡充 × × C.B B.C C	
						結果維持 × × B A ×	
						の縮小 × × C × ×	
						方向休廃止 × D × × ×	
						性完了 D × × × ×	
						完了皆減縮小維持拡大	
						コスト投入の方向性	

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ この事業は地域の方々が健康保持に必要な医療を安心して受けられるようにするために、より多くの患者に利用していただけることを目標に掲げた。患者に安心安全な医療を実感していただくことで、受診者数を伸ばし、健全な運営を継続していくよう、基本事業の意図として適切な指標であると考える。実績値については、目標値を達成できず、昨年度より受入患者数は減少した。主な要因としては、新型コロナウイルス感染症の不安により、特に外来の内科・循環器内科・小児科で受診者数が減少したことが考えられる。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？(過不足がある場合は、改善提案に記載する。) 患者は納得のいく医療行為、迅速な対応、正確な医療費請求を望んでいる。医師が行った診療内容について、医療情報システムを利用し可能な限り短時間で算定を行い、待つことで更なる負担とならないよう努めることは重要である。また、病院事業においては医療費請求・収納業務は必須であり、適切な医療に対する費用の請求・収納を行い、請求した診療報酬を全て受領できることで安定した運営を継続し、患者に対して安全な医療を提供するために重要な業務である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間(市民、企業、NPO)との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 地域の中核となる公立病院として安定した運営のために業務を実施していくのは当然必要と考える。

◆改善提案◆



Action

新規に実施する事務事業名	事業の概要			
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、◎、○、△、▲を選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 二次救急輪番日の増加に伴い救急受入数の増加が見込まれ、保険証の不提示や交通事故などの受診が増えることにより、未収金の増加が懸念される。また、新型コロナウイルス感染症の不安により、外来・入院患者数が減少する中で、医業収益の安定的な確保のためには、限られた診療報酬を確実に請求・収納する必要があり、今後も重点的に取り組むべきであると考える。				
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由			
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)				
予算を伴わない短期的(1~2年)に取り組む改善提案	<p>新型コロナウイルス感染症の不安により、外来・入院患者数が減少している。一方、2021年5月末から新型コロナワクチンの65歳以上個別接種が始まる。患者数の減少による医業収益の縮小をできる限り抑制しつつ、かつ限られた施設内で密を避けてワクチン接種体制も維持する必要がある。</p> <table border="1"> <tr> <td>行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況</td> <td>(6)公営企業等の経営健全化</td> </tr> </table>		行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(6)公営企業等の経営健全化
行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(6)公営企業等の経営健全化			
予算を伴う短期的(1~2年)に取り組む改善提案	<p>電子カルテシステムの更新に伴いシステムを構成する機器が一新されるため、適切に保守を行いシステムの安定稼働に努める。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、リモート会議等の情報機器を利用したコミュニケーションに対するニーズが増大している。これらのニーズに柔軟に対応できるよう、院内のネットワークや情報機器の充実を図り、事務効率の改善や医療の質の向上、患者満足度の向上を実現したい。</p> <table border="1"> <tr> <td>行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況</td> <td>(6)公営企業等の経営健全化</td> </tr> </table>		行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(6)公営企業等の経営健全化
行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(6)公営企業等の経営健全化			
中長期的(3~5年)に取り組む改善提案				
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 診療部門と医事部門の連絡・調整がスムーズに図られることで、待ち時間の短縮や医療費請求が適切に行われる。患者サービスが向上し安心・安全な医療の提供に繋がる。				

基本事業執行責任者 (担当課長名)	森下 喜子	電話番号 0494-23-0611
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	13030001	担当課所名	市立病院診療所事務局				
基本事業名	大滝国保診療所管理運営事業						
総合振興計画 位置づけ	分野	2 医療・福祉・保健					
	政策	1 地域医療の充実					
	施策	2 市立病院の充実	総合振興計画 48 ページ				
基本事業の概要	所内施設の維持管理及び医療機器の更新等計画的に実施して、診断水準の向上を図りより良い医療、看護が提供できる環境を整備すると共に診療内容について患者のニーズや費用対効果等に見合う事業の実施に努める。						
対象	診療所利用患者						
意図 (対象をどのようにしたいか)	より良い医療と看護を提供し、疾病を治癒して健康への快復を図る。						
基本事業指標	指標の算式	種類 単位	1年度 過年度実績値	評価年度(2年度) 目標値	4年度 目標値	他団体の指標(数値)	
大滝診療所患者数		成果指標 人	3,142	—	3,033	—	
◆基本事業を構成する事務事業の実績◆							
枝番号	事務事業名	指標		目標値(上段)	種類 単位	事務事業評価 4年度以降の 事業の方向性 コスト: 成果	重点化
		事業費(円)	2年度決算額	1年度決算額			
01	内科診療事業	指標 内科患者数 867,968	577,450	1,012,000	2,898	人	維持: 維持
02	診療所施設整備・維持管理事業	指標 診療所利用患者数 14,945,182	16,558,449	20,879,000	3,033	人	維持: 維持
03	医療材料購入事業	指標 医療収益に占める材料費の割合 19,770,716	20,152,847	26,928,000	48	%	縮小: 維持
04	医療機器等整備事業	指標 年間医療事故数 0	1,109,834	767,000	0	件	維持: 維持
05	送迎車運行事業	指標 年間送迎車利用者数 2,211,716	4,612,555	2,309,000	737	人	維持: 維持
06	歯科診療事業	指標 歯科診療患者数 2,977,507	2,044,628	2,701,000	135	人	維持: 維持
07		指標:					
08		指標:					
09		指標:					
10		指標:					
11		指標:					
12		指標:					
13		指標:					
14		指標:					
(参考) 最終予算額(円)		61,837,000	83,644,000				
事業費の合計(円) (A)		40,773,089	45,055,763	54,596,000			
財源内訳	国庫支出金	12,762,000	12,479,000	12,762,000			
	県支出去金	10,069,000	11,026,000	10,589,000			
	地方債						
	その他特定財						
一般財源		17,942,089	21,550,763	31,245,000			
正規職員		業務量 人件費(B)	6,00人 36,362,316	5,15人 30,168,252			
会計年度任用職員 (事業費に含む)		業務量 人件費	2,73人 7,580,336	2,71人 7,037,796			
事業費合計(人件費込み)(円) (A)+(B)		77,135,405	75,224,015				

【重点化欄】

評価時点以降の事業の方向性から

◎: 特に重点化必要事業(1つ以内)

○: 重点化必要事業(1つ以内)

△: 劣後化可能事業(1つ以内)

▲: 特に劣後化可能事業(1つ以内)

成果維持	x	x	C.B	B.C	C
縮小	x	x	C	x	x
休廃止	x	D	x	x	x
完了	D	x	x	x	x
	完了	皆減	縮小	維持	拡大

コスト投入の方向性

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？大滝国民健康保険診療所は、高齢化や過疎化が著しい大滝地区で唯一の医療機関であるため、住民が安心して診療が受けられ、より健康的に生活を維持していくように運営の継続は必須である。一方で、一般財源からの繰入金を減少させることも重要で、創意工夫をし患者数の維持を図る必要があり、目標としては適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？（過不足がある場合は、改善提案に記載する。）住民が安心して医療サービスが受けられるよう、医療機器の整備をはじめ患者送迎車及び往診用自動車の適正管理・運行を図るとともに、受診等も含めた地域医療体制の充実を図るために事務事業として妥当である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間（市民、企業、NPO）との役割分担や市の関与の仕方は適切か？大滝国民健康保険診療所は、過疎化、高齢化が著しい大滝地域における唯一の医療機関であることから、市が運営することが妥当であると考える。

◆改善提案◆



Action

新規に実施する事務事業名	事業の概要			
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、◎、○、△、▲を選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 03医薬材料購入事業において、医薬品の中で後発品で対応できるものは変更していく。後発品は価格が安価であるため、患者の自己負担及び医薬材料購入費の削減が図られる。薬の変更に伴い、発注、保管及び処方時に間違いが無いよう、確認体制を整え、患者への説明もわかりやすく行う。以上から最重点とする。				
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由			
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)				
予算を伴わない 短期的(1~2年)に 取り組む改善提案	令和2年11月から診療検査医療機関の指定を受けて、発熱患者の診察を行っている。今後も引き続き院内の感染予防対策を徹底して行うとともに、発熱患者がスムーズに受診し、適切な診察を受けられるよう、体制を整える。			
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(3)基本事業・事務事業の継続的改善		
予算を伴う 短期的(1~2年)に 取り組む改善提案	レントゲン室の除湿器が老朽化により支障があるため更新する。			
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(3)基本事業・事務事業の継続的改善		
中長期的(3~5年)に 取り組む改善提案				
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況			
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 院内の感染予防対策の強化及び環境整備を行うことにより、医療サービスの更なる向上が図られる。				

基本事業執行責任者 (担当課長名)	青野 滉子	電話番号 0494-55-0341
----------------------	-------	----------------------